

「Texture Coordination」 丹後の素材や技術を活かしたファッション展示会について

令和4年2月18日
京都府織物・機械金属振興センター
技術支援課
(TEL 0772-62-7402)

『Texture Coordination～異素材を組み合わせる～』をテーマに丹後の素材や織物、作り手による作品のファッション展示会が開催されます。本展示会では、当センターが実施した人材育成研修（新商品開発【縫製】コース）の受講生が制作した洋服も展示されます。

展示会の詳細は、下記のとおりです。

記

- 1 開催日時 令和4年4月2日（土）、3日（日） 午前11時～午後3時
- 2 テーマ 『Texture Coordination』～異素材を組み合わせる～

「texture」は「触感」、「coordination」は「連携して」「調和して」という意味合いを持つ。「生きるために着る」衣服の原点に立ち返り、身体が触れる感覚、動きに寄り添うかたちを大切に考え、自然の力を借り、異なる素材や技術が調和して、新しい未来の姿を現します。
- 3 場 所 かや山の家（京都府与謝郡与謝野町字温江 1401）
- 4 入場料 無料

※かや山の家で、飲食をされる場合は、別途代金が必要
- 5 問合せ先 展示会事務局（担当：小西 080-4769-7327）

※研修に関する問合せ先：京都府織物・機械金属振興センター（0772-62-7402）



令和4年
4月2日,3日
(土) (日)
11:00～15:00

Texture Coordination

～異素材を組み合わせる～

丹後の土地で育まれた素材・技術を、
丹後の人たちが連携し、つくる
ニューファッションの発信

京都府織物・機械金属振興センターでは、織物製造および関連工程にかかる人材育成研修*を実施しています。

この度の研修では、立体裁断による立体的な洋服の作成方法について基本となる縫製技術を身につけることを目的に開催いたしました。研修の受講生による作品をご覧ください。

* 人材育成研修は、令和4年度も開催予定

企画 / デザイン / 縫製指導 / 立体裁断パターンナー 講師 白数 持治子
共催：京都府織物・機械金属振興センター 協力：CO-COUTURE

展示会運営事務局 担当：小西 (080-4769-7327)

研修へのお問合せ先：京都府織物・機械金属振興センター (0772-62-7402)

展示会場： **かや山の家**

(京都府与謝郡与謝野町字温江 1401)



開催中、ランチやお茶もしていただけます。

豊島 美喜也

嶋津 澄子

平田 亜矢

藤原 朋美

明尾 正美

安田 博美

大江 稔子

益田 愛

素材制作

デザイン 椽 (とち)

丹後の気候に合った和棉を栽培し、手話みで収穫。昔ながらの綿繰り機で種を取り、綿を打ち、手紡ぎやガラ紡績機で糸を紡ぎ、藍や紅花、くちなし等の草木で染色。土づくりから全工程を自社で手にかけ、手織機で一越ずつ織り上げ、製作している。



染色工房 嶋津 (しまづ)

草木染、刷毛染、量し染、絞り染め、糸目友禅などの技法で、一期一会の色を生み出す。「日常の暮らしの中に上質なシルクを」をコンセプトに、着物、服地、スカーフ、インテリア、小物などへの、染め上げたシルクの製品化にも取り組む。



丸仙 (まるせん) 株式会社

明治8年来の技術を守り、生糸1本から織り上がるまでの工程を全て自社で行い、強い撚りをかけた綿糸を使ったちりめん生地を製造。近年は「ちりめん美人」ブランドを立ち上げ、綿ちりめんの良さを活かした様々な製品を開発・販売する。



宮眞 (みやしん) 株式会社

明治に創業し、丹後ちりめんの半襟と帯揚げの生産を始め、1750年にはポリエステルちりめんの開発に成功。現在では、強撚糸の技術に加え、洋装地の展開や、シルク・綿・紙等様々な素材をクオリティー高い技術で追求しながら国内外問わず展開中。



株式会社 山藤 (やまとう)

1833年江戸時代に創業し、190年にわたり織物を生業としている。初期には主に着物地を生産し、後に正絹風呂敷地を主として生産するようになった。近年は生地のみではなく、風呂敷等工芸品を製造販売する一方、広幅洋装地も手掛けている。



講師

白敷 持治子 (しらすちづこ)

骨格や身体の動きに沿った立体カーブを平面に落とし込む立体裁断のプロフェッショナルパタンナー。介護を機会にふるさと丹後に帰り、故郷への恩返しと、これからの人に活躍し輝いてほしいという思いから、丹後地域におけるものづくりに取り組む。



与謝野町温江地区の春の風景

みちしるべ

Texture Coordination

テクスチャコーディネーション

『texture』=触感

『coordination』=連携して、調和して

「生きるために着る」衣服の原点に立ち返り、身体が触れる感覚、動きに寄り添うかたちを大切に考え、自然の力を借り、異なる素材や技術が調和して、新しい未来の姿を現します。

題字：泉谷 順子